



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 静甲株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 鈴木 武夫 TEL 054-366-1106
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,222	5.0	△151	—	△109	—	△108	—
2019年3月期第1四半期	6,877	4.0	△174	—	△144	—	△111	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △188百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △165百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△16.92	—
2019年3月期第1四半期	△17.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	22,744	13,953	61.3
2019年3月期	23,562	14,192	60.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,953百万円 2019年3月期 14,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△1.3	350	△38.0	440	△29.6	270	△28.9	41.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	6,483,323株	2019年3月期	6,483,323株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	52,504株	2019年3月期	52,504株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	6,430,819株	2019年3月期1Q	6,430,754株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や中国の景気減速など、景気の先行きには不透明感が増しております。このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、電機機器事業、車両関係事業は、前年同期の実績を上回り、産業機械事業は前年同期並みの売上高となりました。一方、冷間鍛造事業は自動車部品、産業機械部品の売上減少により前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は、前年同期比5.0%増の72億2千2百万円となりました。利益面では、経常損失は1億9百万円（前年同期は1億4千4百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億8百万円（前年同期は1億1千1百万円の損失）となりました。

〔産業機械事業〕

包装機械は、主要な販売先である食品やトイレタリー業界において、大型の液体充填ラインは売上が減少しましたが、小型・中型機が前年同期の実績を上回ったことから、売上高は前年同期並みとなり、前年同期比2.4%減の12億4千1百万円となりました。セグメント損失（営業損失）は、一部案件の原価高により1百万円（前年同期は2千3百万円の利益）となりました。

〔冷間鍛造事業〕

自動車部品、産業機械部品は、米中貿易摩擦や中国市場低迷が納入先の中国向け製品の減産に大きく影響を及ぼしたため、低調に推移しました。電動工具部品においても中国向け製品の減産があったものの、一部国内向けの需要が増加したため電動工具部品全体では前年同期並みの実績となりました。これらの結果、売上高は前年同期比11.4%減の3億4千3百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比35.9%減の9百万円となりました。

〔電機機器事業〕

主力のFA関連機器は、自動車関連など静岡県内製造業の需要が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。また、空調機器、空調機器用部材、冷熱機器も前年同期の実績を上回りました。設備機器は前年同期並みで推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比10.4%増の12億6千3百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比42.6%増の8千9百万円となりました。

〔車両関係事業〕

新車販売は、新型車の投入はなかったものの、前年同期の実績を上回りました。中古車販売、サービス部門も前年同期の実績を上回りました。輸入車販売は、前年同期並みで推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比7.4%増の43億4千5百万円となりました。セグメント損失（営業損失）は3千2百万円（前年同期は8千9百万円の損失）と前年同期に比べ改善されました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比0.3%減の2千8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比77.5%増の1千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、227億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千8百万円減少いたしました。この内、流動資産は113億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千4百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少5億3千9百万円及び受取手形及び売掛金の減少5億7千2百万円、仕掛品の増加3億2千8百万円によるものであります。

固定資産は113億6千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ9千3百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価等による減少1億1千1百万円によるものであります。

負債合計は87億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千8百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5億4千1百万円、賞与引当金の減少2億1千1百万円、借入金の増加2億7千6百万円によるものであります。

純資産合計は139億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千9百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少1億6千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月15日付当社「2019年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,979,715	4,440,506
受取手形及び売掛金	3,583,848	3,011,290
電子記録債権	508,556	443,105
商品及び製品	1,571,134	1,501,069
仕掛品	1,068,438	1,397,148
原材料及び貯蔵品	22,550	23,571
その他	388,714	582,276
貸倒引当金	△18,501	△19,076
流動資産合計	12,104,456	11,379,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,596,712	3,636,246
土地	3,358,323	3,358,323
その他(純額)	1,529,185	1,496,406
有形固定資産合計	8,484,221	8,490,976
無形固定資産	169,203	167,702
投資その他の資産		
投資有価証券	2,353,419	2,241,976
その他	456,922	473,011
貸倒引当金	△5,250	△8,925
投資その他の資産合計	2,805,092	2,706,063
固定資産合計	11,458,517	11,364,742
資産合計	23,562,973	22,744,633
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,418,166	2,877,006
短期借入金	995,830	1,332,498
未払法人税等	115,153	12,484
賞与引当金	464,428	252,503
製品保証引当金	43,702	36,020
資産除去債務	8,000	-
その他	2,410,459	2,465,804
流動負債合計	7,455,740	6,976,317
固定負債		
長期借入金	922,511	862,512
役員退職慰労引当金	256,706	247,385
退職給付に係る負債	116,001	118,648
資産除去債務	110,906	117,984
その他	508,592	468,740
固定負債合計	1,914,718	1,815,270
負債合計	9,370,458	8,791,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,285	3,151,285
利益剰余金	10,014,927	9,854,648
自己株式	△28,631	△28,631
株主資本合計	13,237,581	13,077,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	954,933	875,743
その他の包括利益累計額合計	954,933	875,743
純資産合計	14,192,514	13,953,045
負債純資産合計	23,562,973	22,744,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,877,574	7,222,026
売上原価	5,614,353	5,890,495
売上総利益	1,263,220	1,331,530
販売費及び一般管理費	1,437,828	1,482,969
営業損失(△)	△174,607	△151,438
営業外収益		
受取利息	11	30
受取配当金	32,385	35,034
その他	19,447	19,896
営業外収益合計	51,844	54,961
営業外費用		
支払利息	2,750	2,264
売上割引	8,047	9,751
和解金	10,000	—
その他	1,418	1,372
営業外費用合計	22,215	13,388
経常損失(△)	△144,978	△109,866
特別損失		
固定資産除却損	943	3,965
投資有価証券評価損	540	—
ゴルフ会員権評価損	—	3,675
特別損失合計	1,483	7,640
税金等調整前四半期純損失(△)	△146,462	△117,506
法人税等	△36,470	△8,674
四半期純損失(△)	△109,991	△108,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,756	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,747	△108,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△109,991	△108,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,197	△79,190
その他の包括利益合計	△55,197	△79,190
四半期包括利益	△165,189	△188,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△168,036	△188,022
非支配株主に係る四半期包括利益	2,847	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の合併

当社は、2019年5月14日開催の取締役会において、連結子会社である日本機械商事株式会社（本社：東京都千代田区）と日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）について、日本機械商事株式会社（本社：東京都千代田区）を存続会社、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2019年7月1日に吸収合併を行いました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 日本機械商事株式会社（本社：東京都千代田区）

事業の内容 産業機械事業における各種包装機械並びに包装機械プラントの販売

(吸収合併消滅会社)

名称 日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）

事業の内容 産業機械事業における各種包装機械並びに包装機械プラントの販売

(2) 企業結合日

2019年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

日本機械商事株式会社（本社：東京都千代田区）を存続会社、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

日本機械商事株式会社

(5) その他の取引の概要に関する事項

販売体制の充実と管理・人事体制及び業務内容の見直しにより、さらなる体制強化を図るとともに、お客さまへ、より高品質なサービスを提供することを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行っております。